

温泉科学投稿規定・執筆要領

(2009年3月改正)

投稿規定

温泉科学 (Journal of Hot Spring Sciences) は日本温泉科学会の会誌 [1941 (昭和16) 年3月第1巻第1号発刊] で、温泉科学に関する原著学術論文のほか、学会記事、会告などを掲載するとともに会員相互の連絡を目的とする。

1. 投稿の原則

原稿は和文または英文とする。投稿の資格は本会の会員とする。また、連名による投稿の場合は、原則として筆頭著者が本会の会員であればよい。ただし、編集委員会が依頼する原稿についてはその限りではない。

2. 原稿の種類

原稿の種類は、原著、短報、総説、討論、技術報告、解説、講座、資料、訪問記、ニュース、書評、学会消息、学会記事、会告、その他とする。なお、原著および短報はオリジナルな研究結果をまとめたもので、短報は速報や新しい研究手法の提案などである。

3. 原稿の長さ

原著、短報、総説およびその他の原稿の長さは、刷り上がりで、それぞれ16頁、4頁、18頁および12頁以内とする。ただし、編集委員会が認めるものはこの限りではない。

4. 投稿手続き

原稿は次の1)、または2)の方法で投稿する。

- 1) 原稿は投稿原稿送付状とともに電子メールに添付し編集委員会に送付する。原稿の本文はWord、写真はJPEG、図は汎用ファイル (JPEG, BITMAP, TIFF 等)、表はExcelファイル等とする。また、同時に原稿のコピー1部を、簡易書留郵便等の配達記録の残る方法で編集委員会宛に送付する。
- 2) 原稿は投稿原稿送付状とともに、原著、短報、総説、資料は原稿のコピー3部、討論、技術報告、解説、講座、資料、訪問記、ニュース、書評、その他編集委員会が認めるものはコピー2部を編集委員会宛に送付する。

*原稿は原則としてワードプロセッサを用いてA4版用紙に印刷したものとする。

*受理が決定された後、改定原稿・原図類とそれらのコピー1部を簡易書留等の配達記録の残る方法で編集委員会宛に送付する。

*本文 (テキストまたはWord形式)・図表などの電子ファイルは、フロッピーディスクかCD-ROMのメディアで提出することが望ましい。

5. 原稿の採否

投稿された原著、短報、総説、資料の原稿は編集委員会で査読するとともに、編集委員以外の専門研究者にも査読を依頼し、それらの結果に基づき編集委員会で検討し、掲載の採否を決定する。

討論、技術報告、訪問記、解説、講座、ニュース、書評の原稿は編集委員会で検討し、掲載の採否を決定する。編集委員会は原稿を査読の結果に基づき内容や字句について加除訂正を求めることがある。

6. 校正

校正は、初校のみ著者校正とする。著者校正は誤植のみとし、文章などの追加、削除は原則として認めない。著者は初校を受理後指定期日以内に校正し、簡易書留郵便か配達記録にて返送する。再校以降は編集委員会が行う。

7. 原稿の返却

原稿は原則として著者に返却しない。ただし、返却希望の著者は、投稿時にその旨を明示し、返信用切手を同封すること。

8. 著者の経費負担

第3項に定めた制限頁の超過分、カラー印刷、折り込みなどの特殊印刷を必要とする場合の経費は著者負担とする。負担額は別に定める。

9. 別刷り

原著、短報、総説の別刷り30部は無料とし、超過して申し込む場合は希望部数(50部単位)を投稿時に申し出て有料とする。負担額は別に定める。

10. 著作権

温泉科学誌に関するすべての著作権は日本温泉科学会に属する。

11. 原稿の送付先と問い合わせ先

〒206-8540 東京都多摩市唐木田 2-7-1

大妻女子大学社会情報学部 環境情報学専攻気付

日本温泉科学会 編集委員会 井上 源喜 宛

Tel:042-339-0088 Fax: 042-339-0044

E-mail: genki@otsuma.ac.jp (10 MB 以内)

執筆要領

1. 和文原稿

1) 原著・短報・総説

① 論文構成

第1項に論文題目、著者名、所属機関・所在地(それらの英文)を記すこと。英文要旨(400語以内)、和文要旨(600字以内)、キーワード(和英4~6語)を書くこと。投稿論文に関する内容が既に学会等で発表されている場合は、その学会名、講演年月日を本文の最後に入れる。ワープロ原稿はA4版1頁35行とする。章、節の区切りは、1., 1.1, 1.2, ……とする。なお、数字・アルファベットは半角とする。

② 図・写真・表

図・写真はJPEG等のファイルか鮮明なプリントとする。原図は線の太さ、字の大きさは縮小率を考え、そのまま版下にできるように書くこと。表はデータが抽出できるファイルとする。これらは原則として白黒印刷となる。カラー印刷希望の場合は明記すること。

図・写真・表のタイトルと説明文は英文とする。ただし、別に和文を付してもよい。これらは本

文とは別の用紙にまとめて書くこと。本文に図および表の挿入場所を赤字で指定すること。

③ 引用文献

引用文献は論文末に一括し、著者名、発行年、題目、雑誌名、巻、頁とし、単行本を引用するときは、著者名、発行年、書籍名、頁、発行所、発行地とする。配列は著者名の A, B, C…順とする。

(例)

中田 高 (1984) : ヒマラヤ前縁帯・ヒマラヤの活断層. 藤田和夫編「アジアの変動帯」, 5-28, 海文堂, 東京.

大波英幸, 大河内正一, 大網貴夫, 吉岡久美子, 片岡喜直, 五味常明 (2008) : 岩盤浴における温熱効果の評価. 温泉科学, 58, 14-24.

Ohsawa, S., Yusa, Y., Oue, K. and Kitaoka, K. (1997): Inert gas compositions of fumarolic gases discharged from the Aso volcanic-geothermal region, Japan. J. Balneologi. Soc. Jap., 47, 56-67.

鶴巻道二 (1964) : 神戸市有馬温泉に関する地質及び泉源調査. 8-47, 神戸市経済局, 神戸.

本文中の引用文献は次のようにする.

大波ら (2008) は……………の研究 (大波ら, 2008) がある.

2) 討論・技術報告・解説・講座・資料・訪問紀等

執筆要領は和文原稿に準ずるが、適宜英文・和文要旨、キーワードを省略してもよい。また、図・写真・表のタイトルと説明文は和文でもよい。

2. 英文原稿

1) 論文構成

和文原稿に準ずるが、第1項には論文名、著者名、所属機関・所在地と、それらの和文を記すこと。和文要旨 (600字以内)、Abstract (400語以内)、キーワード英和 (それぞれ4~6語) をつける。投稿論文に関する内容が既に学会等で発表されている場合は、その学会名、講演年月日を本文の最後に入れる。

2) 図表の書き方は和文原稿の執筆要領に準ずる。

3) 引用文献は和文原稿の執筆要領に準ずるが、和文文献を引用する場合には、文献の末尾にその文献が和文であることを示す。

(例)

Fuse, M. and Nagashima, H. (2008): Changes in temperature, pH and flow of Yubatake-group and Bandaiko hot spring sources in Kusatsu spa, Gunma Prefecture. J. Hot Spring Sci., 58, 99-110 (in Japanese with English abstract).